

変額保険 グローバルミックス

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1 17 3

四半期運用レポート

2010年1月～2010年3月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社



アクサ・ローゼンバーグは、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 特別勘定運用部が行います。)	アクサ・ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	アクサ・ローゼンバーグ 証券投信投資顧問株式会社
		アクサ・ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募	
		アクサ・ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募	
債券 50%			

特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険

特別勘定の四半期運用レポート (2010年1月～2010年3月)

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2010年1月～2010年3月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、上昇しました。TOPIX(東証株価指数)は12月末比+7.85%上昇の978.81ポイントで終了しました。
1月は、欧米株式市場の上昇や企業業績の改善期待などから上昇して始まり、中旬以降、中国の金融引き締めや米国の新金融規制法案を嫌気したことなどから下落に転じ、さらにギリシャの財政悪化懸念を背景にした円高などから軟調な展開となりました。3月に入ると、日銀が追加的金融緩和を決定したことや円安傾向が続いたことを受けて上昇に転じました。
業種別(東証33業種)では、中国などの需要拡大による業績回復期待から「海運業」(12月末比+35.08%)が最も上昇した一方、日本航空が上場廃止となった「空運業」(同 15.52%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は上昇し、NYダウは12月末比+4.11%上昇の10,856.63ポイントで終了しました。
1月は堅調に始まったものの、中旬以降、米国の新金融規制法案、中国の金融引き締め、ギリシャの財政悪化懸念などを嫌気して下落する展開となりました。その後、EU(欧州連合)によるギリシャ支援合意などで上昇に転じ、3月末にかけて好調な企業業績やFRB(米連邦準備制度理事会)による低金利政策継続の表明などを好感し、さらに上昇しました。
欧州株式市場も米国同様の動きとなりました。ギリシャの財政悪化懸念などにより下落基調で推移しましたが、支援策が合意された3月には反転上昇し、市場別騰落率は、英FT100は12月末比+4.93%上昇、仏CAC40は同+0.96%上昇、独DAXは同+3.29%上昇となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、方向感の定まらない展開で推移しましたが、3月は金利上昇基調となり、新発10年国債利回りは1.395%となりました(12月末は1.285%)。
3月上旬までは、国内外の株式や米国債券市場などの動きに左右される展開となり、1.3%台前半近辺で推移しました。中旬以降、堅調な株式市場の動きを受けて売り優勢の展開となり、一時1.37%程度まで上昇しました。下旬にかけては、ギリシャ支援策の合意を受けた株価の上昇などを背景に、一時昨年11月以来となる1.4%台に上昇しました。
日銀は、政策金利を据え置き、年0.1%を維持しました。
無担保コール(翌日物)は0.1%程度の水準で推移しました。

【外国債券市場】

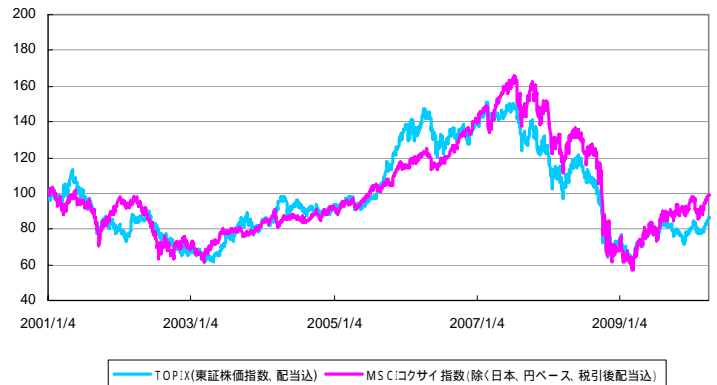
米国債券市場は、軟調な経済指標の発表などを受けて堅調に始まりました。1月中旬以降、低金利政策の長期化見通しや株価の下落などが買い材料となり、さらに金利は低下しました。2月に入ると、FRBが公定歩合を引き上げた一方、低金利政策を長期間維持すると示したことなどから、方向感の定まらない展開となりましたが、3月には堅調な株式市場や国債の需給悪化懸念などを受けて上昇しました。米10年国債利回りは、3月末は3.826%となりました(12月末は3.837%)。
欧州債券市場は、株式市場の下落やギリシャの財政悪化懸念などから先行きの景気不安が強まったことを受けて金利は低下し、相対的に安全と見られる独国債が選好される展開となりました。独10年国債利回りは、3月末には3.092%となりました(12月末は3.387%)。
FRBは、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.0~0.25%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年1.0%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、米低金利政策の長期化見通しやギリシャの財政悪化懸念などを背景としたリスク回避の動きなどから、米ドルが売られる展開となりました。しかし、3月には世界的な景気回復に対する期待感や、日銀の追加的金融緩和と米長期金利の上昇などを受けて日米金利差が意識されたことなどから、円が売られる展開となりました。円は対ドルで12月末比0円94銭(-1.02%)円安ドル高の1ドル=93円04銭となりました。
ユーロ/円相場は、ギリシャの財政悪化懸念を受けてリスク回避の動きが強まり、円高ユーロ安となりました。円は対ユーロで12月末比7円08銭(+5.36%)円高ユーロ安の1ユーロ=124円92銭となりました。

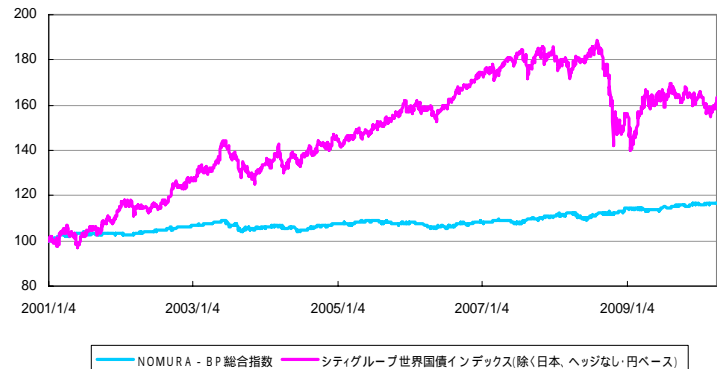
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

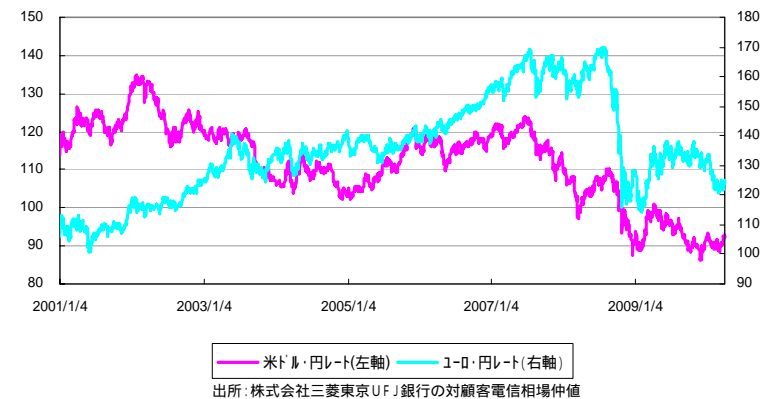


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

特別勘定の四半期運用レポート (2010年1月～2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2010年3月 末日現在]

特別勘定のINDEXの推移

特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2010年3月末	2010年2月末	2010年1月末	2009年12月末	2009年11月末	2009年10月末
INDEX	0.875	0.837	0.837	0.847	0.821	0.830
	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
騰落率 (%)	4.45	3.21	4.37	18.24	13.32	12.54

特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率 (%)
現預金・コールローン	673,599	1.9
その他有価証券	34,333,712	98.1
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	3,718,938	10.6
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)	5,569,038	15.9
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	5,357,288	15.3
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	3,577,541	10.2
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	16,110,905	46.0
合計	35,007,311	100.0

各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当期のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分につきましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)

今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

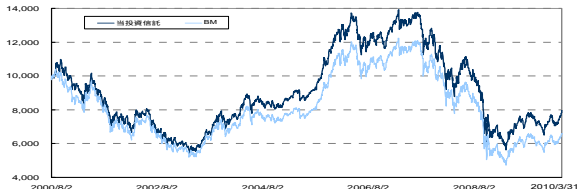
特別勘定の四半期運用レポート（2010年1月～2010年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年3月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	11.29%	9.29%	7.86%	27.14%	39.66%	20.45%
BM	9.47%	7.85%	7.58%	26.52%	42.88%	33.98%
差	1.82%	1.44%	0.28%	0.62%	3.22%	13.53%

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	15.69%
2 輸送用機器	12.98%
3 銀行業	7.79%
4 卸売業	7.67%
5 化学	6.14%
6 情報・通信業	5.12%
7 機械	4.46%
8 その他製品	3.92%
9 その他業種	34.67%
10 現金等	1.56%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.87%
2 本田技研工業	輸送用機器	2.75%
3 キヤノン	電気機器	2.66%
4 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.64%
5 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.22%
6 三菱商事	卸売業	1.89%
7 武田薬品工業	医薬品	1.58%
8 パナソニック	電気機器	1.29%
9 ソニー	電気機器	1.23%
10 任天堂	その他製品	1.18%
合計		21.30%
組入銘柄数		433銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+9.29%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前四半期末比+7.85%となりました。当四半期の日本株式市場は、純資産利回りが高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、上昇した事務機器を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した自動車や金属を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇したイオン(8267)を多めに保有していたことや下落したテルモ(4543)を保有していなかったことがプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステマティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	94.20%
2 大阪証券取引所第一部	4.24%
3 現金等	1.56%
合計	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

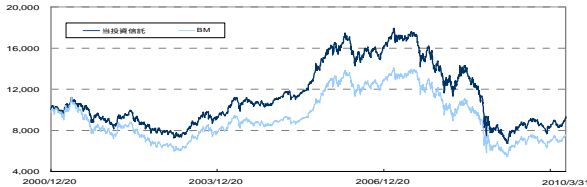
特別勘定の四半期運用レポート（2010年1月～2010年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年3月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	11.03%	8.68%	6.03%	25.61%	45.50%	6.86%
BM	9.47%	7.85%	7.58%	26.52%	42.88%	24.08%
差	1.55%	0.83%	1.55%	0.91%	2.62%	17.22%

マザーファンド受益証券の詳細情報 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	16.85%
2 輸送用機器	14.40%
3 卸売業	7.77%
4 銀行業	7.11%
5 医薬品	6.47%
6 化学	5.73%
7 鉄鋼	4.81%
8 陸運業	4.73%
9 その他業種	30.17%
10 現金等	1.96%
合計	100.00%

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) 適格機関投資家私募
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として日本の株式を対象に投資を行い、信託財産の中長期的な成長を図ることをめざします。定量スクリーニングによって割安度が高く、かつ成長性の高い銘柄を中心に積極的に投資します。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	92.75%
2 大阪証券取引所第一部	2.38%
3 ジャスダック証券取引所	1.32%
4 東京証券取引所第二部	1.10%
5 大阪証券取引所第二部	0.28%
6 名古屋証券取引所第二部	0.11%
7 名古屋証券取引所第一部	0.09%
8 現金等	1.96%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 キヤノン	電気機器	4.02%
2 本田技研工業	輸送用機器	3.56%
3 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.23%
4 武田薬品工業	医薬品	2.96%
5 日産自動車	輸送用機器	2.74%
6 ジェイ エフ イー ホールディングス	鉄鋼	2.56%
7 富士フイルムホールディングス	化学	2.16%
8 アステラス製薬	医薬品	2.12%
9 トヨタ自動車	輸送用機器	1.96%
10 東海旅客鉄道	陸運業	1.89%
合計		27.21%
組入銘柄数		346銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比 + 8.68% となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前四半期末比 + 7.85% となりました。当四半期の日本株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことは、プラスに寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、上昇した事務機器を多めに保有していたことや、下落した銀行を少なめに保有していたことはプラスに寄与しましたが、下落した自動車を多めに保有していたことや上昇した電力を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇したイオン(8267)やセブン&アイ・ホールディングス(3382)を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した任天堂(7974)やソニー(6758)を保有していなかったことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

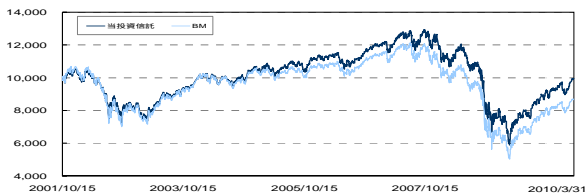
特別勘定の四半期運用レポート（2010年1月～2010年3月）

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年3月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	6.51%	4.68%	11.40%	43.78%	16.33%	0.53%
BM	6.36%	4.13%	10.54%	48.56%	22.78%	12.97%
差	0.15%	0.55%	0.86%	4.77%	6.45%	12.44%

マザーファンド受益証券の詳細情報 セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 テクノロジー・ハードウェア	10.18%
2 エネルギー	9.71%
3 医薬品/バイオテク/ライフ	8.42%
4 ソフトウェア・サービス	7.94%
5 食品・飲料・タバコ	7.68%
6 資本財	6.52%
7 各種金融	5.98%
8 保険	4.72%
9 その他業種	37.69%
10 現金等	1.17%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 EXXON MOBIL CORPORATION	アメリカ	エネルギー	2.68%
2 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	2.65%
3 APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.45%
4 INTEL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.10%
5 GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	1.78%
6 HEWLETT-PACKARD CO	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	1.74%
7 PFIZER INC	アメリカ	医薬品/バイオテク/ライフ	1.66%
8 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	各種金融	1.56%
9 PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	1.43%
10 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	食品・飲料・タバコ	1.40%
合計			19.46%
組入銘柄数			281銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+4.68%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前四半期末比+4.13%となりました。

当四半期の米国株式市場は、市場との連動性が高い銘柄が上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、上昇した保険や小売を多めに保有していたことはプラスに寄与しましたが、上昇した銀行を少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇した保険のPRUDENTIAL FINANCIALを多めに保有していたことはプラスへ寄与しましたが、上昇した銀行のCITIGROUPを少なめに保有していたことや下落したソフトウェア・サービスのGOOGLEを多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式
マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数²

(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

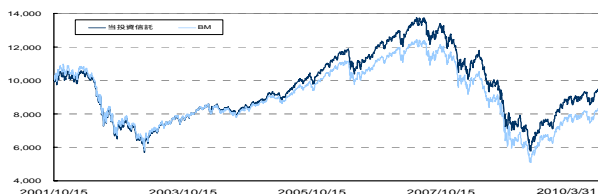
特別勘定の四半期運用レポート (2010年1月～2010年3月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年3月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	7.86%	2.64%	6.19%	48.78%	26.04%	5.75%
BM	8.09%	3.05%	6.10%	49.24%	29.54%	17.37%
差	0.23%	0.42%	0.09%	0.47%	3.50%	11.62%

マザーファンド受益証券の詳細情報 国別構成比率

国名	マザーファンド
1 イギリス	28.29%
2 フランス	14.04%
3 スイス	12.58%
4 ドイツ	10.90%
5 スペイン	6.40%
6 オランダ	5.26%
7 イタリア	4.87%
8 スウェーデン	3.39%
9 その他の国	9.04%
10 現金等	5.24%
合計	100.00%

組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	3.03%
2 BP PLC	イギリス	エネルギー	2.04%
3 NESTLE SA-REGISTERED	スイス	食品・飲料・タバコ	2.03%
4 NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.01%
5 GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.96%
6 BANCO SANTANDER SA	スペイン	銀行	1.88%
7 SANOFI-AVENTIS	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.74%
8 SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.74%
9 RIO TINTO PLC	イギリス	素材	1.60%
10 ASTRAZENECAPLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.41%
合計			19.47%
組入銘柄数			271銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比+2.64%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前四半期末比+3.05%となりました。当四半期の欧州株式市場は、純資産利回りの高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことがプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、下落した電力を少なめに保有したことや上昇したITハードウェアを多めに保有したことはプラスへ寄与しましたが、下落した薬品を多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。一方個別銘柄では、ベンチマーク対比で、上昇した資本財のSIEMENS(ドイツ)や保険のZURICH FINANCIAL SERVICES(スイス)を多めに保有していたことはプラスへ寄与しましたが、下落した銀行のBANCO BILBAO V.A.(スペイン)を多めに保有していたことや上昇した銀行のLLOYDS BANKING GROUP(イギリス)を少なめに保有していたことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) 適格機関投資家私募
 【委託会社】 アクサ・ローゼンバーグ証券投資信託顧問株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として欧州地域の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・欧州株式マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数³(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

³ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 銀行	14.57%
2 素材	9.94%
3 医薬品・バイオテクノ・ライフ	9.84%
4 エネルギー	8.76%
5 資本財	7.85%
6 食品・飲料・タバコ	6.98%
7 電気通信サービス	5.70%
8 公益事業	5.31%
9 その他業種	25.81%
10 現金等	5.24%
合計	100.00%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

変額保険

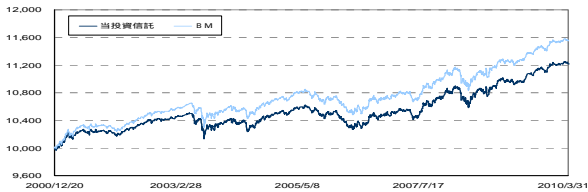
特別勘定の四半期運用レポート (2010年1月～2010年3月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募 の運用状況

[2010年3月 末日現在]

当投資信託の基準価額の推移



投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

当投資信託の騰落率

	過去 1ヵ月	過去 3ヵ月	過去 6ヵ月	過去 1年	過去 3年	設定来
投資信託	0.12%	0.01%	0.61%	2.36%	6.35%	12.18%
BM	0.09%	0.02%	0.80%	2.69%	6.97%	15.51%
差	0.04%	0.03%	0.19%	0.33%	0.61%	3.33%

マザーファンド受益証券の詳細情報 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.65年	99.51%
国債	4.79年	70.63%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	5.00年	4.46%
金融債	4.54年	1.06%
社債等	4.16年	23.35%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等	0.00年	0.49%
合計	4.63年	100.00%

* 債券先物を含みます。

組入上位10銘柄

	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第259回利付国債(10年)	日本	1.500%	2014年3月20日	Aa2	AA	6.59%
2	第257回利付国債(10年)	日本	1.300%	2013年12月20日	Aa2	AA	6.28%
3	第275回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年12月20日	Aa2	AA	6.05%
4	第254回利付国債(10年)	日本	1.400%	2013年9月20日	Aa2	AA	5.84%
5	第252回利付国債(10年)	日本	1.000%	2013年6月20日	Aa2	AA	5.45%
6	第269回利付国債(10年)	日本	1.300%	2015年3月20日	Aa2	AA	5.18%
7	第272回利付国債(10年)	日本	1.400%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.56%
8	第273回利付国債(10年)	日本	1.500%	2015年9月20日	Aa2	AA	3.47%
9	第305回利付国債(10年)	日本	1.300%	2019年12月20日	Aa2	AA	3.42%
10	第285回利付国債(10年)	日本	1.700%	2017年3月20日	Aa2	AA	3.33%
合計							49.18%
組入銘柄数							52銘柄

上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前四半期末比 0.01%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前四半期末比+0.02%となりました。

当四半期の債券市場では、経済回復の兆しが反映されるかたちとなり、日経平均株価は堅調で、国債市場は軟調、社債市場は底堅く推移しました。米景気の二番底入りの噂やギリシャ財政難から波及した欧州諸国に対する懸念を背景に、3月の円相場は年初来高値圏に入りました。1月の鉱工業生産の確定値および2月の輸出額(貿易統計速報)や工作機械受注など良好な指標もみられましたが、GDPデフレーターや全国CPIなどは軟調であり、年度末に伴う債券市場への僅少な資金流入を背景に軟調に終わりました。

当投資信託は、昨年12月に日銀が実施した量的緩和策に加え、追加的措置があることを予想し、当四半期を通じてデュレーションを長めに維持しました。この戦略は1月に奏功しましたが、結果的に実施がないことが発表され、当投資信託のパフォーマンスはベンチマークに対してマイナスとなりました。

今後については、鉱工業生産および輸出高の伸びは縮まるものの引き続き上昇するものとみています。直近の日銀短観では一部に依然悲観論も残りますが、改善の兆候がみられます。デフレ圧力の中で、早急ではないものの徐々に経済は回復していくものと見ています。日銀による物価下落に関する対策についての発表を注意深く見守りながら、3月の決算期を迎え開散とした新発市場での投資機会を引き続き狙いつつ、中長期的にベンチマークを上回る運用をめざします。

将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

利用する投資信託について

[投資信託名] アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) 適格機関投資家私募
[委託会社] アクサ・ローゼンバーグ証券投信投資顧問株式会社
[運用方針]

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、原則としてわが国の公社債に投資を行い、ベンチマークを中長期的にみて、上回る運用をめざします。外貨建資産に投資した場合は、原則として為替ヘッジを行います。

当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・日本債券
マザー・ファンド受益証券 適格機関投資家私募 に投資します。

設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合⁴、中期3年以上7年未満)です。

比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

公社債の格付別構成比率

格付区分	マザー・ファンド
AAA	1.07%
AA	93.52%
A	5.41%
BBB	0.00%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

海外格付機関の格付を優先します。
海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付けを採用します。

ポートフォリオの状況

	マザー・ファンド
平均複利利回り	0.71%
平均クーポン	1.42%
平均残存期間	4.85

「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

[引受保険会社]

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は東証が有しています。
東証は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S & P 500種株価指数」とは、スタンダード・アンド・プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード・アンド・プアーズ社に帰属しています。S & P 500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S & P 500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(ユーロベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整して、わが国の対顧客電信売買相場の仲値を用いて円ベースに換算したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。当該指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は日興コーディアル証券株式会社に帰属します。また、日興コーディアル証券株式会社は当該指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

変額保険のリスクについて

市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-778-133

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/life/>